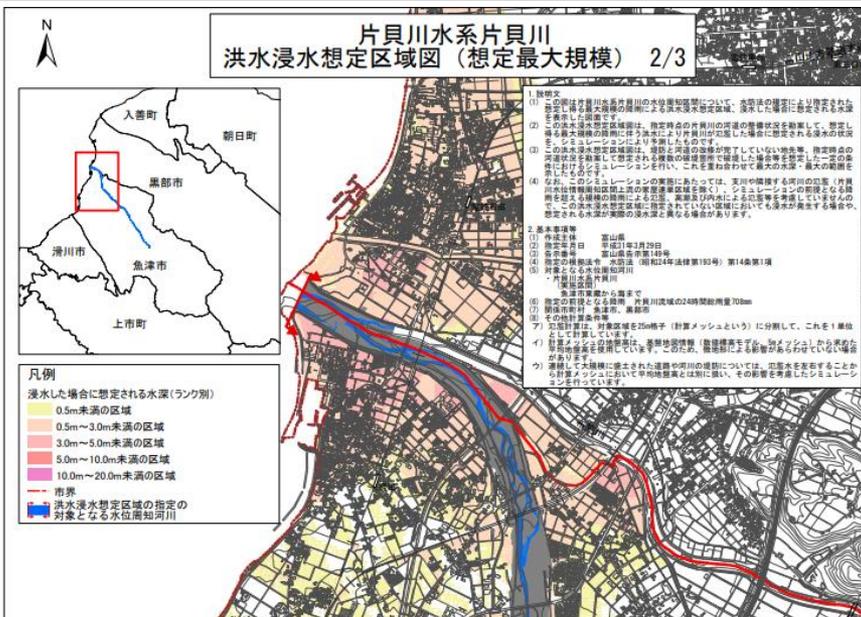


(様式2-取組概要)

2期項目 No	IV 情報伝達、避難計画等に関する取組
2期 カテゴリ	26 想定最大規模降雨による浸水想定区域図
2期 内容	水害リスク空白地を解消するため、中小河川における想定最大規模降雨による浸水想定区域図の作成およびハザードマップ作成支援
実施主体	富山県

令和3年改正水防法に基づき、人家等防護対象が存する全ての河川について、浸水想定区域図の作成が義務付けられました。片貝川水系の県管理河川については、令和7年の出水期前までに公表する予定としています。

【取組実績】 令和4年3月～ 対象河川の選定・解析手法の検討を実施
 令和6年度～ 洪水浸水想定区域図作成委託業務実施



参考例：片貝川(本川)(水位周知河川)
 洪水浸水想定図(想定最大規模)



片貝川支流の河川(例：田糲川)

2期項目 No	IV 情報伝達、避難計画等に関する取組		
2期 カテゴリ	29 リアルタイムの情報提供やプッシュ型情報の発信など防災情報の充実(水位や河川状況等ライブカメラ情報、避難情報)		
2期 内容	河川状況等ライブカメラ情報	実施主体	富山県

洪水時における住民の自主避難や市町村長の避難指示等の判断を支援するため、河川監視カメラの画像や県管理の水位周知河川等の水位状況をインターネットを通じて一般公開している。

【実施概要】

- ・ 公開開始日:平成30年6月～【R4.3月リニューアル、R5.3月改修(危機管理型水位計のリアルタイムデータが閲覧可)、R6.6月改修(ダム貯水位の確認可※外部リンク、10分更新)】
- ・ 公開の内容:河川海岸カメラ画像情報(静止画:5分更新)、県管理河川の水位情報等
- ・ 公開HP :「富山県河川海岸カメラ・水位情報」 <https://kawa.pref.toyama.jp/camera>



河川監視カメラ設置状況

ダム名	水系名	貯水位	全流入量 (m³/s)	全放流量 (m³/s)	洪水調節貯留率 (%)
喜吹ダム*	神通川水系井田川	242.41m	0.68m³/s	4.08m³/s	-
上市川ダム	上市川水系上市川	18.40m	33.32m³/s	32.72m³/s	-
和田川ダム	庄川水系和田川	4.1m	0.18m³/s	0.00m³/s	-
利賀川ダム*	庄川水系利賀川	-	2.07m³/s	2.08m³/s	131.10
白岩川ダム	白岩川水系白岩川	124.13m	4.34m³/s	4.35m³/s	101.10
子瀬川ダム	小矢部川水系子瀬川	98.99m	0.09m³/s	0.09m³/s	125.70
角川ダム	角川水系角川	123.09m	2.25m³/s	0.18m³/s	317.60
総野川ダム	神通川水系総野川	313.23m	-	-	-
上市川第二ダム	上市川水系上市川	276.6m	-	-	-
朝日小川ダム	小川水系小川	228.3m	1.91m³/s	4.10m³/s	232.30
布施川ダム	片貝川水系布施川	282.81m	1.18m³/s	1.15m³/s	-
地蔵ダム	小矢部川水系山田川	261.95m	0.78m³/s	0.85m³/s	-
境川ダム	庄川水系境川	551.67m	3.59m³/s	12.61m³/s	570.80
大谷ダム	黒川水系大谷川	149.58m	0.25m³/s	0.22m³/s	-
久埴渡川ダム	神通川水系久埴渡川	337.43m	2.78m³/s	2.80m³/s	-
市川ダム	小川水系市川	295.48m	0.31m³/s	0.31m³/s	297.10

県HP「富山県河川海岸カメラ・水位情報」

2期項目 No	IV 情報伝達、避難計画等に関する取組		
2期 カテゴリ	29 リアルタイムの情報提供やプッシュ型情報の発信など防災情報の充実(水位や河川状況等ライブカメラ情報、避難情報)		
2期 内容	「とやま河川(かわ)メール」配信サービス	実施主体	富山県

とやま河川(かわ)メールは、富山県が管理する河川の水位やダム貯水位が基準値を超えた場合に、登録された方へスマートフォンやパソコン、携帯電話にメールを配信するサービスです。洪水時における避難行動や水防団の水防活動などにご活用いただけます。

- 【実施概要】
- ・ 配信開始日: 令和6年6月21日
 - ・ 配信の内容: 受け取りたい河川(46観測所)の水位(4段階)や、ダム(16箇所)の貯水位(3段階)の各基準値(選択可)を超えた場合にメールを配信

とやま河川メール

富山県が管理する河川の水位やダム貯水位の情報をメールでお知らせします

受け取りたい河川の水位やダム貯水位が登録した基準値を超えた場合に、スマートフォンやパソコン、携帯電話にメールが配信されます。



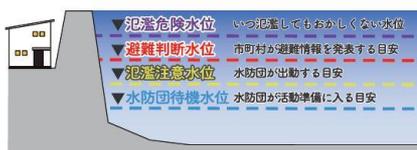
配信内容

水位観測所やダム、基準値を選ぶことができます。

配信項目	基準値
河川水位 (46箇所)	・ 氾濫危険水位 (レベル4)
	・ 避難判断水位 (レベル3)
	・ 氾濫注意水位 (レベル2)
	・ 水防団待機水位 (レベル1)
ダム貯水位 (16ダム)	洪水調節容量における貯留割合が
	・ 100%の貯水位
	・ 80%の貯水位
	・ 50%の貯水位



[参考] 各基準値の内容
河川水位



ダム貯水位



登録はこちら▶▶▶



以下URLからも登録可能です

<https://plus.sugumail.com/usr/toyama-pref/home>

2期項目 No	I ①洪水を河川内で安全に流す対策
2期 カテゴリ	1 河道浚渫・河道掘削
2期 内容	河道内堆積土砂や樹木の計画的な撤去を推進
実施主体	富山県

洪水を河川内で安全に流す対策として、県管理河川の堤防整備、河道浚渫や伐木等を実施
【実施概要】 ・護岸整備：片貝川、布施川 ・放水路：鴨川 ・漏水対策：角川
(R6実績：赤) ・河道浚渫：布施川、小川寺川、角川、中川 ・伐木：片貝川、布施川、早月川、角川

実施前



完了後



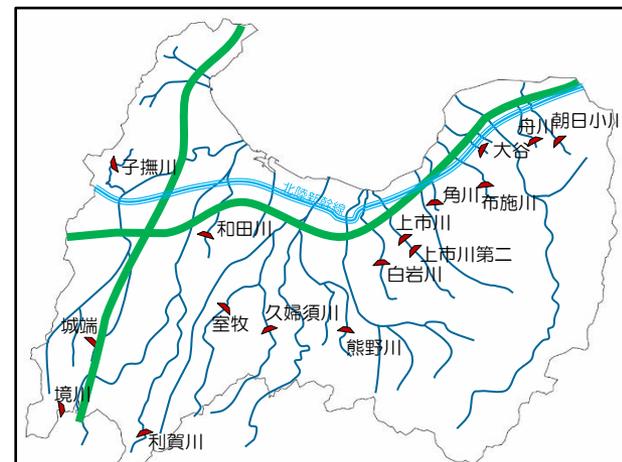
護岸整備 (布施川)

河道掘削 (布施川)

2期項目 No	I ①洪水を河川内で安全に流す対策
2期 カテゴリ	1 ダムによる洪水調節
2期 内容	堰堤改良の実施
実施主体	富山県

老朽化したダム施設の改良を、国の5カ年加速化対策予算等も活用し計画的に実施。

R7実施個所 室牧ダム、久婦須川ダム、熊野川ダム、
利賀川ダム、境川ダム、子撫川ダム、
上市川ダム、上市川第二ダム、
白岩川ダム、角川ダム



○ダム管理用制御処理設備の改良

ダム諸量データ処理やダム操作の確実性・信頼性向上につながる

施工前



5
年
加
速
化
対
策
予
算
の
活
用

施工後



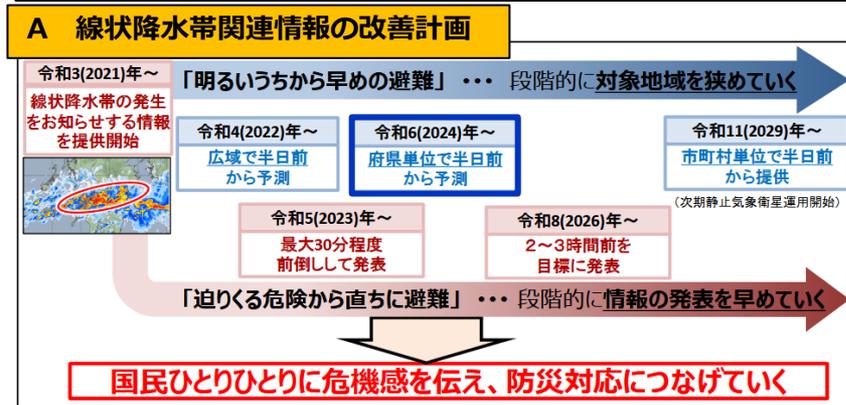
(様式2-取組概要)

2期項目 No	IV 情報伝達、避難計画等に関する取組
2期 カテゴリ	29 リアルタイムの情報提供やプッシュ型情報の発信など防災情報の充実
2期 内容	線状降水帯による大雨の半日前呼びかけの新たな運用(令和6年5月)
実施主体	気象庁

【対策概要】

線状降水帯による大雨の半日前呼びかけの新たな運用 (令和6年5月)

⇒ 発表単位を地方予報区単位から府県単位へ変更。その予測実績を検証し公開。



C 半日前呼びかけの検証結果 (適中率・捕捉率)

府県単位でのとりまとめ結果	運用開始前の想定 (令和5年のデータから検証)	令和6年 (11月30日時点)	
		あり	なし
線状降水帯発生の呼びかけ「あり」のうち線状降水帯の発生「あり」	25%程度 (4回に1回程度)	約10% (81回中8回)	適中率 (高いほうが良い)
線状降水帯の発生「あり」のうち線状降水帯発生の呼びかけ「あり」	50%程度 (2回に1回程度)	約38% (21回中8回)	捕捉率 (高いほうが良い)

検証指標

		線状降水帯発生の呼びかけ	
		あり	なし
線状降水帯の発生	あり	A	C
	なし	B	

適中率 = $\frac{\text{呼びかけ「あり」のうち発生「あり」(A)}}{\text{呼びかけ「あり」(A+B)}}$ ()

捕捉率 = $\frac{\text{発生「あり」のうち呼びかけ「あり」(A)}}{\text{発生「あり」(A+C)}}$ ()

* 令和6年度から「適中率」、「捕捉率」(=100-「見逃し率」)を用いて実績を公表する方針に変更

結果: 令和6年は適中率・捕捉率共に運用開始前の想定を下回る
石川県の線状降水帯(9月21日)など、小規模の事例が多く予測が難しかった

B 府県単位に絞り込んで発表した事例 (令和6年6月)

2024年6月鹿児島県(奄美地方を除く)・宮崎県に線状降水帯の呼びかけが半日程度前から実施された事例

従来の運用

新しい運用

3時間降水量 2024年6月21日05時20分

鹿児島県

実際に鹿児島県(奄美地方を除く)にて顕著な大雨に関する気象情報が発表

6月20日～21日	九州南部・奄美地方	宮崎県	線状降水帯は発生せず	呼びかけを実施	約80ミリ
6月21日	九州南部・奄美地方	鹿児島県(奄美地方を除く)	線状降水帯が発生	呼びかけを実施	約150ミリ

雨雲の動き21日9時

キキクル21日10時

➤ 線状降水帯発生の呼びかけを行った81回中、線状降水帯の発生「あり」は8回であるが、それ以外にも、

- ・3時間降水量が100mm以上となったのは27回

あることから、この呼びかけが行われたときには、大雨災害への心構えを一段高めていただくことが重要である。

○今後の取り組みに関する情報

- ・線状降水帯予測精度向上に向けた技術開発・研究の取組について

https://www.jma.go.jp/jma/press/2412/25c/SLMCS_20241225.html

<https://www.jma.go.jp/jma/press/2412/27a/07kettei.pdf>

* 富山県では、R6年出水期における発生・呼びかけ事例共になし

R6年度呼びかけ81事例の内容は、以下をご参照ください。 <https://www.jma.go.jp/jma/kishou/knownow/jirei/index.html#d>

2期項目 No	IV 情報伝達、避難計画等に関する取組
2期 カテゴリ	29 危険レベルの統一化等による災害情報の充実
2期 内容	防災気象情報全体の体系整理 (令和8年度出水期開始予定)
実施主体	気象庁

【対策概要】

「防災気象情報に関する検討会」による防災気象情報全体の体系整理の最終とりまとめ公表（令和6年6月）
 富山気象台では、市町村向けに気象情報新体系整理に関する概要説明会をリモートにて開催（令和7年2月）

警戒レベル相当情報の体系整理（洪水・浸水の例）

現状

分類	洪水に関する情報				大雨浸水に関する情報
	洪水予報河川	水位周知河川		洪水予報河川・水位周知河川以外の河川	
河川数	429河川	1,774河川		約20,000河川※1	-
発表主体	河川事務所または都道府県と気象台	河川事務所または都道府県	気象台	気象台	気象台
発表単位	河川ごと	河川ごと	市町村ごと	市町村ごと	市町村ごと
対象とする現象	外水氾濫	外水氾濫	外水氾濫 潜水型の内水氾濫	外水氾濫 潜水型の内水氾濫	内水氾濫による浸水 (外水氾濫による浸水※2)
発表指標	【2～4相当】 水位（実測・予測） 【5相当】 実現象（確認）	【2～4相当】 水位（実測のみ） 【5相当】 実現象（確認）	流域雨量指数 表面雨量指数 【5相当】 （解析・予測）	流域雨量指数 表面雨量指数 【5相当】 （解析・予測）	表面雨量指数 (流域雨量指数※2) 【5相当】 （解析・予測）
情報名称	氾濫危険情報	氾濫危険情報	氾濫警戒情報	洪水警戒	洪水警戒
2(相当)	氾濫注意情報	氾濫注意情報	洪水注意情報	洪水注意情報	洪水注意情報

改善案

分類	洪水に関する情報				大雨浸水に関する情報 (洪水予報河川・水位周知河川以外 (その他河川)の洪水に関する情報を含む)
	洪水予報河川	水位周知河川		水位周知河川以外 (その他河川)	
河川数	429河川	1,774河川		-	
発表主体	河川事務所または都道府県と気象台	関係機関が協力して発表		気象台	
発表単位	河川ごと	河川ごと		市町村ごと	
対象とする現象	外水氾濫	外水氾濫		内水氾濫による浸水 (潜水型の内水氾濫を含む) その他河川の外水氾濫	
発表指標	【2～4相当】 水位（実測・予測） 【5相当】 実現象（確認）	【2～4相当】 水位（実測のみ） 【5相当】 実現象（確認）	流域雨量指数※3 表面雨量指数 【5相当】 実現象（確認）	流域雨量指数 表面雨量指数 【5相当】 （解析・予測）	表面雨量指数 (流域雨量指数※2) 【5相当】 （解析・予測）
情報名称	レベル4 氾濫危険情報	レベル4 氾濫危険情報	レベル3 氾濫警戒	レベル3 氾濫警戒	レベル4 大雨危険情報
2(相当)	レベル2 氾濫注意	レベル2 氾濫注意	洪水注意	洪水注意	レベル2 大雨注意

◎シンプルでわかりやすい情報体系・名称に整理

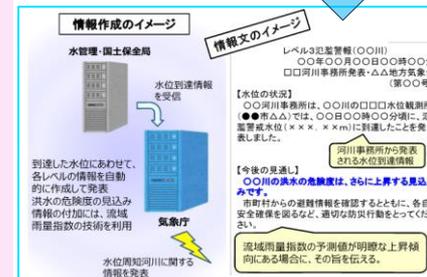
【洪水】氾濫による社会的な影響が大きい河川（洪水予報河川、水位周知河川）の外水氾濫を対象とし、河川ごとの情報とする。これ以外の河川の外水氾濫については、内水氾濫と併せて市町村ごとに発表する【大雨浸水】に関する情報とする。

①洪水の情報改善

- ・5段階の警戒レベルを基本とする。
 - ・指定河川洪水予報については、従来と変更なし。
 - ・洪水警報・注意報の発表は市町村毎では行わず、河川毎に発表。
 - ・水位周知河川は、これまで河川事務所・都道府県から提供してきた水位到達情報に、気象庁の流域雨量指数の見通しを自動処理で付加し、共同で情報発表。
- * 運用当初は国管理水位周知河川のみ。

②浸水の情報改善

現状：
内水氾濫による浸水のみ
 改善案：
洪水予報河川・水位周知河川以外の河川の外水氾濫も
内水氾濫とあわせて大雨浸水に関する情報の対象に



2期項目 No	Ⅲ 平時から住民等への周知・教育・訓練に関する取組
2期 カテゴリ	22 避難訓練への地域住民の参加促進
2期 内容	令和6年度 滑川市総合防災訓練
実施主体	滑川市

大規模な災害を想定した実践的な防災訓練を実施し、地域の防災意識を高めることを目的として、滑川市総合防災訓練を実施した。上市川沿岸地域である中加積地区の住民は、上市川が氾濫危険水位に到達（警戒レベル4）したという想定で、南部小学校（指定避難所）に避難し、避難所の開設訓練などを実施した。

【詳細】

実施日：令和6年10月27日（日）

会場：滑川市立南部小学校

対象地区：中加積地区及び山加積地区の住民

内容：情報伝達訓練、避難訓練、避難所開設訓練、安否確認訓練、土のう作成体験など



2期項目 No	Ⅲ 平時から住民等への周知・教育・訓練に関する取組
2期 カテゴリ	22 避難訓練への地域住民の参加促進
2期 内容	自主防災組織による避難訓練の実施
実施主体	地区自主防災組織

自主防災組織の結成以来、様々な災害に備えた訓練を実施してきた中、避難指示が発令された場合の避難所開設及び住民避難訓練を実施するとともに、小型動力ポンプを使った消火等の訓練も実施し、防災力の向上を図った。

【取組実績】

- ・ 実施地区：東布施自主防災連絡協議会
- ・ 実施日：令和6年11月10日（日）
- ・ 場 所：東布施公民館
- ・ 内 容：避難所開設準備訓練、住民避難訓練、炊き出し訓練、資機材使用訓練

